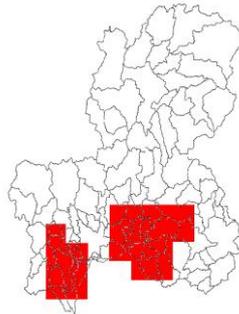


クモラン	<i>Taeniophyllum glandulosum</i> Blume	絶滅危惧Ⅰ類
		ラン科
選定理由	木の伐採や園芸目的の採取圧がある。	写真(箕浦博之) 
形態の特徴	根は扁平で放射線状に根が出る。根が葉の代わりをするので淡緑色である。茎は短い。花茎に淡緑色の花が1-3個咲く。花期は6-8月。	
生態的特徴	樹幹に着生する。	
分布状況	本州、九州、四国、沖縄に分布する。岐阜県では美濃地方南部と東部に分布する。	
減少要因	木の伐採や園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項	姿が昆虫の蜘蛛に似ているためこの名が付いた。	
参考文献		

文責:山崎玲子